

ラオス国工業開発計画準備調査（ビエンチャン工業団地 F/S） スコーピング案 助言

2009. 8. 7

環境社会配慮審査会

代替案の検討

1. ビエンチャン工業地域(VIZ)選定の過程を明確に説明すべきである。
2. 環境社会影響予測・評価の対象となる代替案として、三つの VIZ 開発シナリオ代替案も含まれることが望ましい。
3. EIA 段階で実施される代替案比較において、理解しやすく客観的な評価指標や基準を設定し、説得力のある総合評価結果が得られるよう工夫することが望ましい。
4. 個別施設の計画を検討する前段階において、土地利用や施設配置上の代替案を検討しておく必要がある。

土地利用状況

5. 工業地域全体(2000ha)における土地利用の現況及び土地利用区分を把握すべきである。
6. 優先開発地区(140ha)の土地利用（特に森林部）については、現地でのヒアリング等により詳細を確認すべきである。

環境影響項目・評価

7. 湖沼・河川状況の評定に関して、今後の調査結果により評定を再検討することが望ましい。
8. 工業地域内からの下水の処理方式の検討とともに、処理後の放出先の状況や放出先での環境影響についても記述すべきである。
9. 水道公社の給水区域拡大により当該工業地域にも給水が予定されており、給水量増大に伴う環境影響について考慮することが望ましい。
10. 450年記念道路を通る交通量の増大に伴う自然保護地区への影響を評価する必要性につき、ラオス国政府とともに検討することが望ましい。
11. F/S 対象地域及び開発区域全体の開発計画により発生が見込まれる、水需要、汚水発生量、電力使用量、廃棄物処理量等について、定量的に試算・把握し、明記すること、また、それらの需要量・負荷量等を勘案して、本開発計画の策定と同時に、必要な設備増強等の整備計画を検討することが求められる。

用地取得、移転補償

12. 450年記念道路建設事業及び地区道路108号線拡幅事業の土地取得・住民移転・補償手続きに関する現状・問題点・クレームの有無等を把握し、本案件の運用に十分活かされることが望ましい。
13. ラオス国における土地取得と住民移転に係る政策遵守の状況について十分に把握する必要がある。
14. 移転の対象となる住民への補償は、再取得価格により実施されることが望ましい。

ステークホルダー協議

15. 移転対象住民のステークホルダー協議への参加を検討し、多面的な意見が得られるよう配慮することが望ましい。
16. ステークホルダー協議等の住民参加と情報公開が適切に実施されるよう支援することが望ましい。
17. 住民代表として地区長や村長のみが参加する場合には、如何に地域住民に情報提供されるのかを確認することが望ましい。

環境管理計画、環境モニタリング計画

18. 工業団地周辺の宅地利用や無秩序な開発への規制に関して、ビエンチャン市により適切に対応されるよう検討・提言していくことが望ましい。
19. 供用開始後の工業地域内における環境モニタリング・環境マネジメントの組織制度の提案と構築についての支援を行うことが望ましい。
20. 工場から排出される産業廃棄物の処理・処分については、提案されている工業団地規則で罰則事項も含め確実な実効性を担保すること、また、住居・商業施設・アメニティ施設からの汚染物質と廃棄物に関して、処理責任とその方法について具体的に提案することが望ましい。

立地工場の選定

21. F/S 対象地域における立地工場の選定に際し、大気・水質等の排出負荷の少ない工場を選定することが望ましい。

今後の開発計画

22. 今後の開発計画策定にあたっては、累積影響、広域公害対策などを考慮したSEA的観点からも調査されることが望ましい。また、今回のEIAの成果を今後の環境配慮に対する提言とすることが望ましい。

以上